

地点検知インターフェイス装置

Spot detection interface device

当社では、保守用車の割出し事故を未然に防止するための装置「保守用車自動停止装置」を、1000箇所以上納入してきました。この製品では、どの分岐器にどの方向から保守用車が進入するかを認識するための地上子を線路上に、それを読み取るスキヤナを車上に備えています。これを利用し、保守用車の走行位置を把握するための外部システムに地上子を利用した地点情報を提供する装置「地点検知インターフェイス装置」を開発しました。

特長

- 保守用車自動停止装置のスキヤナ制御部で読み取った地上子のデータを、固有の識別信号(地点情報)に変換して出力します。この情報を地図などのデータベースと組みあわせることで、分岐器周辺でどの方向に進行したかが分かります。
- 地上子の位置は移設しない限り変化しないため、地上子ごとのキロ程を調べておけば、他システムの位置補正などにも利用できます。
- 本装置専用の地上子を設置し、駅の境界や路線名の切り替え箇所の地点検知にもご利用いただけます。
- 5秒おきに信号(状態情報)を発信するため、機器の故障や断線が容易に検知できます。
- 外部システムとはRS-232CケーブルとD-subコネクタによって接続します。汎用規格品ですので、外部機器側の部品選定や取り付けも容易です。

機器仕様

| 部品名 | 仕様 |
|-----------------------------------|---|
| 地点検知 IF 装置 | 電源：24V (車内制御ボックスから供給) 寸法：W160×H80×D66mm 消費電流：300mA以下 |
| 地点情報伝送ケーブル | 長さ：約5m (外部システム～本装置用) |
| IF [®] 装置・車内制御ボックス接続ケーブル | 長さ：約1m (本装置～車内制御ボックス用) |
| キロ程用地上子 | 寸法：W137×H100×D40mm 対応周波数：2.45GHz |

※ IF=インターフェイス



地点検知 IF 装置 (本体)



地点情報伝送ケーブル



キロ程用地上子

(産業機器生産統括部 アルカリ電池部)